

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年2月9日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>drap COMICS DX No. 179 双子×征服</p> <p>令和4年2月8日発行</p>	<p>親の借金によって性行為を強要され逃げ出しても追跡して再び自由を奪って性交におよぶ、相手が最終的にそれを受け入れるという描写・ストーリーは、このような行為が当たり前で許容されると青少年に誤解されるおそれがある。スマホに追跡用のアプリをひそかに入れたり、飲み物に薬物を混入させたと思しき場面があり犯罪を誘発しかねない。性器の修整も甘い。絵が美しく、双子も端正な顔立ちで、悪辣な行為すら綺麗な印象を与えてしまうことに問題がある。指定該当。</p> <p>結合シーンは角度、吹き出し、擬音などで配慮されている部分が多くあり、性器描写も主線を用いず、形状や質感が分からないようにしているコマも多くある。とはいえ、結合内部の詳細な断面図や形状も分からせる絵が含まれており、修整しきれていないコマが後半に増えていく。物語は、優しい印象を演出していたとしても、強制性交を正当化し、登場人物を優しい愛のある人物として描き、主人公さえも幸せを感じるのは無理がある。総合的に判断して成人向き。指定該当。</p> <p>全体的にストーリーがしっかりしていて、画力もあり読み応えのある作品。ただ、性器が薄くぼかされ何本か線で消されてはいるものの形状がはっきりわかる箇所もある。また、ストーリーの流れではあるが、強制的なシーンもある。総合的に判断して指定該当。</p> <p>性器の修整に関しては白の横線で消してあるが、甘さを感じる。性描写の場面では体液、擬音も多い。全体的にストーリー性が強い展開と思うが、「金がねえなら体で払う」という言葉や強制的にカメラに写される場面などがあり、総合的に判断し、指定該当。</p> <p>ストーリー全体が借金の肩代りに肉体を要求するという法的にも誤った前提に立っており、反社会的で容認できない。その後の経緯もその前提を強化する展開になっている。性器の描写もかなり修整が甘い。指定該当。</p> <p>性器の描写は修整されているが甘い。作品に内容はあるが、性交の強制場面の描写が多い。全体的に卑わいな感じがある。指定該当。</p> <p>性器の修整が甘い。強制性交のシーンがすなわち人格否定を表すものではないものの、本作品においては、強制性交の是非や登場人物の心情説明の表現に乏しく、物語の意図がわからない。そのため、人格否定を容易に連想させる可能性を排除しきれない。指定該当。</p> <p>強制的・おどし・くすりなどみえるが、心と心がとけあっていく展開。ただ、性器の消し方の甘さが青年レベルをこえていると感じる。指定該当やむなし。</p> <p>性交シーンは全体としてはそれほどではないが後半に多い。局部や結合部について配慮した跡は見られるが、特に後半、トーンで濃淡をつけて質感を出していたり、その部分に白テープ数枚を貼ったりする修整は不十分。「金がないなら体で」と屈服させて、逃げてもつかまえて性交して、そうしていくうちに情がわいてくるという一見ハッピーエンドのように正当化している点が問題。指定該当やむなし。</p> <p>他人名義で作成した借用書をもとに恐喝し、性的関係を強要し、他人の携帯に勝手にアプリを仕込むなど犯罪行為に該当する行為が描かれているが、該当指定基準で求められている内容とは異なる類のものと判断する。性的描写については、様々な形での修整を加え、微妙な箇所もあるが全体的にははっきりと描かれておらず、判別し辛い印象。一部結合内部の断面を描いている部分があるが卑わい感はおかえって感じない。保留。</p> <p>体を借金の形に取るということが良いとは言えないにしてもコミカルな感じで卑わいではない。ただ局部の消し方など強調しない工夫の余地がある。保留。</p> <p>親の借金という本人にはどうしようもない理由で性行為を強要されている点において人格否定の要素が感じとれる。また、特に結合部分において性器の修整の甘さがあるが、擬音、体液描写も少なく、全編大部分とはいえ、保留。</p> <p>全体的に性交シーンは多く感じない。性器の消しは配慮されているものの形がわかってしまう部分もあるが、そこまで多く描かれていないので全体的な卑わい感は少ない。総合的に判断し、指定非該当。</p>